

環境目標	施策	No.	業務指標	担当課	実際に取り組んだこと (前回審議会時)	実際に取り組んだこと (修正後)	年次報告書 掲載頁
自然との共生	〈1〉 生物多様性への 取組	1	緑地面積	みどり公園課	「ふるさとの緑の景観地」において、土地の公有地化を行った。	生産緑地やふれあいの森の解除が発生したことにより、緑地面積の目標値を下回ったが、「ふるさとの緑の景観地」において、土地の公有地化を行った。	9・10頁
		2	緑地率	みどり公園課	「上尾市自然環境保全と緑化推進に関連する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の所有者に対して奨励金を支払った。	生産緑地やふれあいの森の解除が発生したことにより、緑地面積の目標値を下回ったが、「上尾市自然環境保全と緑化推進に関連する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の所有者に対して奨励金を支払った。	
		3	自然観察会の参加者数（累計）（生物多様性への取組）	環境政策課	令和6年1月に鴨川の冬鳥観察会を開催し、19名の方が参加された。	令和6年1月に鴨川の冬鳥観察会を開催し、19名の方が参加された。今後は、参加者が増加するようSNS等を活用し周知活動を強化する。	
	〈2〉 自然との ふれあいの促進	5	自然学習館におけるイベントの参加率	みどり公園課	自然学習館におけるイベントでは、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努めた。	自然学習館におけるイベントでの参加率を向上させるため、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努めた。	11・12頁
	〈4〉 水辺環境の 保全・整備	13	河川における不法投棄の件数	建設管理課	現地調査などの際、パトロールとして併せて実施した。	現地調査などの際、パトロールとして併せて実施した。市民から不法投棄の通報により、件数が増加した。	15・16頁
公害の防止	〈6〉 水質汚濁の 防止	18	工場・事業場の排水基準の適合率	生活環境課	水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例により、特定施設・指定施設を有する50事業場に立入調査を実施し、不適合の9事業場に指導し、改善の確認（6事業場）と再指導（3事業場）を行った。	水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例により、特定施設・指定施設を有する50事業場に立入調査をした。不適合の9事業場に指導を実施し、改善の確認（6事業場）と再指導（3事業場）を行った。	21・22頁
		19	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数	生活環境課	単独浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換工事に関する補助金の申請は16件あり、2件取り下げがあったため、14件の転換及び補助金の交付を行った。	単独浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換工事に関する補助金の申請は14件あり、補助金の交付を行った。HPによる周知の他に、地区の回覧や個別通知等により、申請者の掘り起こしを図ります。	
	〈8〉 その他の 公害の防止	25	野焼きパトロール回数	生活環境課	小型焼却炉を保有する事業所等に対して、野焼きパトロールを実施した。なお、個別の苦情対応が増えたため、パトロールの実施回数は、目標値を下回った。	小型焼却炉を保有する事業所等に対して、野焼きパトロールを実施した。個別の苦情対応による出動が増加したため、実施回数が目標値を下回った。	25・26頁
快適環境の構築	〈9〉 公園の整備	26	都市公園の面積	みどり公園課	増加する公園の苦情や要望は、エクセルで作成した委託依頼書や公園相談票を活用し、指定管理者と情報を共有すると共にデータを蓄積した。	都市公園の開設告示は、今回はR8年度を予定しているため、都市公園の面積については現状を維持した。その他の取組として、増加する公園の苦情や要望は、指定管理者と情報を共有すると共にデータを蓄積した。	27・28頁
		27	市民1人当たりの都市公園面積	みどり公園課	小泉土地区画整理事業地内の寺東公園について、整備を実施した。	都市公園の開設告示は、今回はR8年度を予定しているため、市民1人当たりの都市公園面積については現状を維持した。R5年度は、小泉土地区画整理事業地内の寺東公園について、整備を実施した。	
		28	可住地面積当たりの公園面積の割合	みどり公園課	開発行為許可申請時に適切な緑化指導を行った。	都市公園の開設告示は、概ね5年に1度まとめて行っており、今回はR8年度を予定しているため、実績値の増減はなかった。その他の取組として、開発行為許可申請時に適切な緑化指導を行った。	
	〈11〉 環境美化の推進	35	クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量	生活環境課	ごみゼロの日（5月30日）に準じて「クリーン上尾運動」として各地域の住民参加による清掃活動を行った。令和5年度は、不燃ごみ18,213kg、可燃ごみ161.38㎡を収集した。	ごみゼロの日（5月30日）に準じて「クリーン上尾運動」として各地域の住民参加による清掃活動を行った。コロナ禍後に伴う人流の回復により、ごみのポイ捨てが増加したことが、ごみ回収量が増加した要因と推察している。	31・32頁
		36	ごみ散乱防止ネットの配布件数	西貝塚環境センター	出前講座等で、ごみの捨て方等の説明の一つとしてごみ散乱防止ネットの無償配布について周知した。	出前講座等で、ごみ散乱防止ネットの無償配布について周知した。配布件数は、ネットの欠損等が発生する等の状況に左右されるため、常に目標値を上回り続けることは困難な状況であるが、引続きごみの正しい分別方法と併せて周知活動を継続する。	
循環型社会の形成	〈13〉 ごみの発生抑制の推進	41	ごみに関する出前講座受講者数（累計）	環境政策課	小・中学校と放課後子ども教室から依頼があり、計129人の方が受講された。	小・中学校と放課後子ども教室から依頼があり、計129人が受講されたが、目標値を達成することができなかった。出前講座以外の取組としては、上尾市環境推進大会において、ごみの分別やりサイクルに取り組んでいる団体を表彰し、活動報告を行ってもらうことで市民への啓発を図った。	37・38頁
	〈14〉 ごみの再利用・再資源化の推進	43	地域リサイクル活動による資源回収割合	環境政策課	地域リサイクル事業報奨金と地域リサイクル事業収集運搬業務を引き続き実施し、地域リサイクル活動の継続に努めた。	地域リサイクル事業報奨金と地域リサイクル事業収集運搬業務を引き続き実施し、地域リサイクル活動の継続に努めているが、近年のPTAの解散等で活動団体は減少傾向である。	39・40頁
低炭素社会の構築	〈16〉 地球温暖化への適応策の推進	55	雨水貯留タンク設置補助件数	建設管理課	年2回広報あげおに掲載、イベントにてPRを実施	年2回広報あげおに掲載、イベントにてPRを実施したが、目標値を達成できなかったため、PR方法を再検討する。	47・48頁
環境活動の活発化	〈17〉 環境教育・環境学習の推進	57	環境推進協議会学習会参加者数	環境政策課	令和5年11月に第1回学習会「食品ロスを減らそう」を開催した。	令和5年11月に第1回学習会「食品ロスを減らそう」を開催した。目標値を達成することはできなかったが、環境学習に関するその他の取組として、上尾市環境推進大会の実施、中学校や駅自由通路でのパネル展示などにより、市民への啓発を図った。	51・52頁